

令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する 事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業により国の助成を受けている生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）について、次のとおり事業の実施状況の確認・評価を行う。

1. 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要

資料 2-2 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）
「庄原地域内フィーダー系統確保維持計画」

(1) 対象路線

【下高野線】

下高野線は、高野町・口和町域から松江道を経由し、三次市街地を結ぶ路線である。これにより、三次市街地への速達性が格段に向上するとともに、三次から各方面へのアクセスの向上が図られている。

沿線住民の利便性向上のため、松江道口和IC、モーモー物産館、三次市君田町・三次町を経由するルートで4往復運行している。

2. 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の評価について

資料 2-3、2-4

(1) 評価対象年度

令和3年度（令和2年10月1日～令和3年9月30日）

(2) 事業実施の適切性

計画に位置付けられた目標は達成できなかったものの、運行事業者・関係団体協力のもと、計画に位置付けられた事業を実施した。

(3) 目標・効果達成状況

【目標】 1便あたりの利用者数は、目標の5.9人以上に対して5.4人であった。

【効果】 地域住民の日常の移動手段を確保維持することができた。

また、幹線バスに接続しているため広域的な移動も可能である。

(4) 事業の今後の改善点

- ・新型コロナウイルス感染症による影響により目標は達成できなかったが、前年度1便あたりの利用者数5.1人より利用が伸びている。
- ・高齢者や障害者といった、自ら移動手段を持たない人の通院・買物などの日常生活に係る移動など、利用者のニーズや地理的条件を踏まえて、利用しやすい交通体系を構築していく。
- ・自ら移動手段を持たない人だけでなく、自動車等、自らの移動手段をもっている人など、より多くの人たちに利用してもらうため、バスマップの配布、バスの乗り方教室実施などの取り組みを継続するとともに、さらなるソフト施策の充実を図っていく。

※地域内フィーダー系統とは・・・

地域間交通ネットワーク（複数市町をまたがる路線）と接続して支線として運行する系統